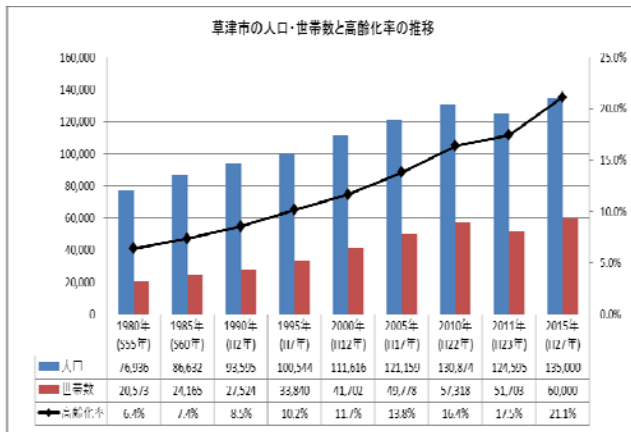


平成26年度 草津市社会福祉協議会 事業計画書



草津市の福祉指標～わたしたちのまちは今～

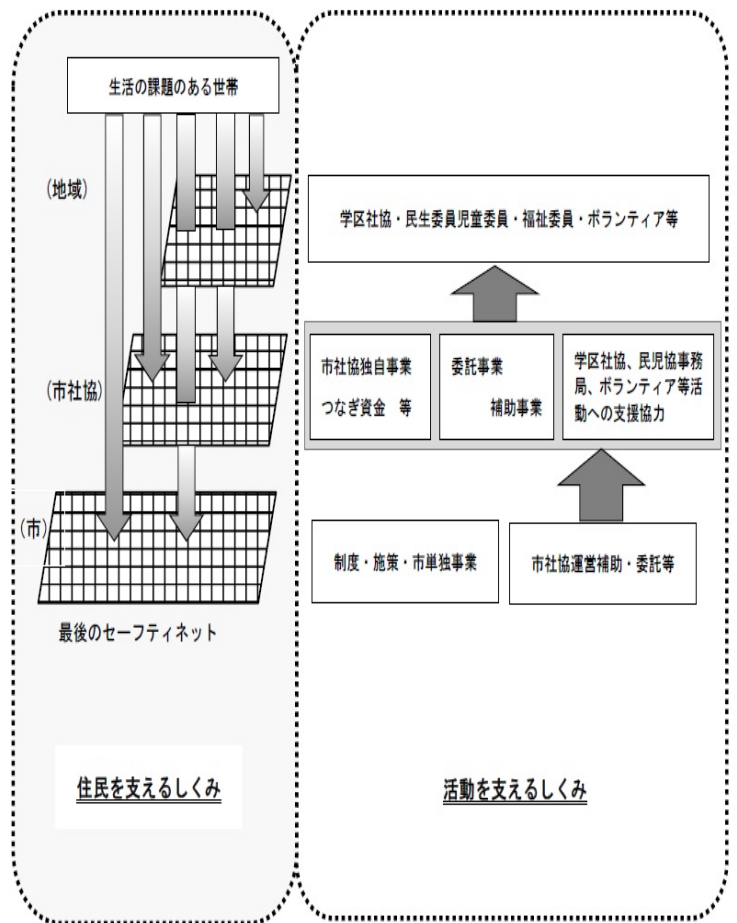
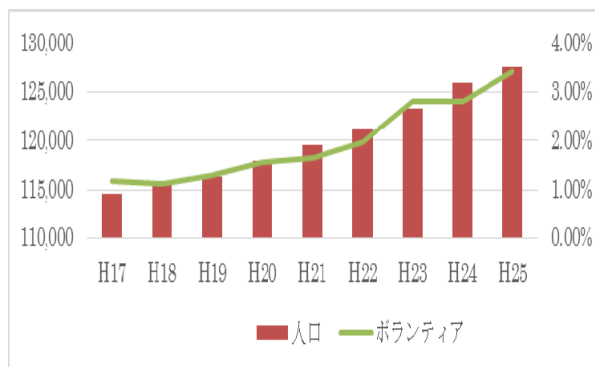
【草津市の福祉指標】



資料：平成22年まで草津市統計書（国勢調査）、平成23年は市企画調整課各年10月1日現在数、平成27年は第5次総合計画による推計

【ボランティア活動の広がり】

市社協登録ボランティアの草津市の人口に対する割合は、平成25年度は3.4%であり、平成19年度と比較して2倍以上の伸び率を示しています。



平成26年度事業計画

本市の高齢化率は19%を超え、10年前の約1.5倍となり高齢化は着実に進んでいます。高齢者人口は10年前の1.7倍に、一人暮らし高齢者は2.2倍に、65歳以上の高齢者みの世帯は2.6倍となっています。このように少子高齢化に伴い高齢者の生活様相も著しい変容がみられます。

さらに近年の社会経済情勢や雇用環境の厳しさから、地域福祉を取り巻く環境も変化しており、孤独死やひきこもりなどの社会的孤立、低所得による経済的困窮、近所づきあいや支えあいの希薄化など地域が抱える生活課題も多様化かつ複雑化しています。

このような中、生活困窮者自立支援法が昨年12月に公布され、生活困窮者を支援する第二のセーフティネットの充実・強化を図る展開が始まろうとしており、27年度施行に先立ち全国各地でモデル的試行の取り組みが行われつつあります。

一方、草津市協働のまちづくり条例が施行されることに伴い、社協は中間支援組織としての機能を今まで以上に発揮し地域福祉推進コーディネータ力を高めることが求められます。

平成26年度は平成24年度から始まった第2次草津市地域福祉活動計画の中間年度にあたります。この目標の基本理念である『こころ温かく支えあい 住みつづけたい 福祉のまち・くさつ』の実現に向け、活動計画に基づく効果的な事業推進に努めます。

また、中間支援組織として関係団体との連携力を高めるとともに、社協体制強化にも努め、さらなる地域福祉の推進に努めます。

1. 基本方針

2. 重点目標

(1)地域福祉活動推進実践事業（地域福祉コーディネート機能強化）の推進

草津市協働のまちづくり条例の施行に伴い、中間支援組織として地域福祉コーディネータ力を高め地域福祉推進の支援を図るため、学識者や地域での活動者の参画を得て「地域福祉活動推進実践会議」を設置します。さらに重点実践地域を選定し地域福祉推進を支援します。

(2)福祉ボランティア、市民活動団体等の中間支援連携事業の推進

草津市コミュニティ事業団との連携により、地域のまちづくりや地域福祉推進に必要な情報発信を行います。また、ボランティアグループや市民活動団体とのコーディネート機能の強化によりまちづくり活動を支援します。

(3)(仮)地域支えあい事業の推進

平成26年度新規施策として市で予定されている交通弱者のための地域支えあい事業について、市社協が事業主体となり地域における移動困難者支援対策の支援を行います。

第2次地域福祉活動計画の構成と整合性を持たせた事業計画の構成とします。

3. 事業計画

第2次草津市地域福祉活動計画

(1) 推進項目 : 地域福祉活動の周知・啓発

基本目標1 : 子どもから高齢者まで一人ひとりが尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土づくりに取り組みます。

3, 573千円

事業名	内容説明	予算	財源
社協くさつ広報発行	市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、市社協事業、ボランティア活動や住民の福祉活動に着目した広報に努めます。	1, 424千円 370千円	会費 共募
広報くさつ点字版作成・配布	1級から4級の視覚障害者に対し、広報「くさつ」点字版の配付を希望される方に、毎月1日号を点訳し郵送します。	244千円	市受託
ホームページ	ホームページにおいて、トピックスにタイムリーな情報を掲載し、地域福祉活動への関心を高めます。	400千円	会費
ふくちゃん啓発	市社協キャラクター「ふくちゃん」の着ぐるみを地域のイベント等に派遣します。また啓発グッズの販売を促進し、市社協の啓発に努めます。	100千円	会費
社協パンフレット作成	賛助会費募集等で活用できる市民向けのわかりやすい「市社協のしおり」を作成し、多くの市民や企業に向けて市社協活動の啓発を推進します。	130千円	会費
敬老会への支援	敬老月間に長寿を祝い、地域の支えあいや見守り活動につなげるための敬老会事業の実施を支援します。	76千円	市補助
福祉を考える市民のつどい	福祉活動やボランティア活動を体験し学習することで福祉について考えるきっかけとなる気づきの場を提供します。	310千円 84千円	会費 共募
近所力アップ講座	地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民どうしのつながりや地域福祉活動の大切さを伝えます。	5千円	会費
福祉活動推進員育成 (市民コーディネーター育成)	学区社協の地域福祉活動推進体制の強化をめざし、「福祉活動推進員」の育成講座を開催します。また、講座修了者が学区社協において手腕が発揮できるよう支援します。	340千円	市補助
社会を明るくする運動	地域住民の犯罪防止と更生保護に対する一層の理解を深めるため、関係機関・団体と一体となって運動を展開します。	90千円	市受託

(2) 推進項目 : 地域福祉力の向上

基本目標2 : くらしの課題を共有し、解決に向けて地域福祉力の向上と住民主体の地域福

社活動の発展をめざします。

事業名	内容説明	予算	財源
地域サロン活動支援	地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支えあう関係づくりができるよう、サロン活動の拡充をめざします。	8,369千円	市補助
地域サロン交流会	地域サロングループの横のつながりをつくるため、交流会を実施し、意見交換や情報交換を行います。	51千円	ボラ基金
地域サロン活動備品貸出	地域サロンで活用できる備品を整備し、地域サロンの立上げ支援や継続支援を行います。	63千円	ボラ基金
寝たきり・認知症予防助成	草津市老人クラブ連合会が実施する介護予防事業に助成します。	90千円	共募
障害児者介護者リフレッシュ	肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する、肢体不自由児者や知的障害児者の家族の心身のリフレッシュと介護者同士の交流・情報交換の場づくりを支援します。	40千円	共募
知的障害者社会参加自立支援	草津市手をつなぐ育成会が中心となり実施する、共同作業所等で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動を支援します。	25千円	共募
視覚障害児者支援	草津点字グループあゆみ会にPHPの点訳を依頼し、視覚障害者への情報提供を行います。	5千円	共募
いきいきふれあい大運動会助成	市心身連が主催している「いきいきふれあい大運動会」事業へ助成します。	50千円	共募
子ども福祉活動助成	草津市子ども会指導者連絡協議会のリーダーボランティア活動へ助成します。	65千円	共募
福祉機器リサイクル	福祉機器（車椅子・杖・補聴器）を6カ月を限度に貸出し、福祉機器のリサイクルを促進します。	112千円	市受託
福祉車両貸出	一人では外出が困難な高齢者や障害者の生活の安定を図るため、福祉車両を貸出します。また、必要に応じて送迎ボランティアとの受給調整も行います。	546千円	会費
健康講座	高齢者が地域でいつまでも元気で暮らせるために、認知症発症率の抑制に貢献することを目的とした「脳が目覚める健康講座」を開催します。	50千円	会費
◎地域支え合い運送支援	地域の活動団体が主体となって実施する移動困難者の運送支援事業を市社協が支援します。	3,746千円	市補助
高齢者介護者リフレッシュ	介護者のリフレッシュを目的に、介護者同士の交流・情報交換のできる場づくりを実施します。	143千円	善銀
社会福祉功労者等表彰式典	長年活躍している地域福祉活動者やボランティアに対しその功績を称え表彰し、活動を応援します。また社会福祉の向上のため寄附された個人や団体に感謝の意を表します。	179千円	会費

(3) 推進項目 : ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

基本目標3 : 住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆が実感できるまちづくりを推進します。

事業名	内容説明	予算	財源
-----	------	----	----

ボランティアセンター運営	ボランティアセンターの機能を強化し、多様なボランティアや市民活動のコーディネートを図り、ボランティアの振興に努めます。また、寄附金の有効活用に努め、基金を有効に運用します。		
ボランティア保険・ボランティア連協加入促進	市社協が実施しているボランティア活動保険の加入を促進し、併せてボランティア連絡協議会の加入も促進します。	70千円	ボラ基金
ふれあい基金活動助成	県社協が実施する助成事業を活用し、ボランティア活動の支援強化を図ります。	1,000千円	県社協補助
収集ボランティア啓発	使用済み切手・カードやペットボトルのキャップ、プルトップを収集するなど、身近なボランティア活動を広めます。	10千円	ボラ基金
ボランティアリスト	市民への啓発と、ボランティア相互の情報交換や活動の活性化のため、ボランティア・地域サロングループリストを作成します。	129千円	ボラ基金
福祉教育の推進	ボランティア活動や地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室（福祉学習機材の貸出やボランティア派遣）を行い、学校等の福祉教育を支援します。	167千円	ボラ基金
◎ボランティア入門講座	ボランティア活動へのめざめときっかけづくりとしてボランティア入門講座を開催し、ボランティアの裾野を広げます。	55千円	ボラ基金
「よみ～な！」の発行	ボランティア情報紙「よみ～な！」を年3回発行し、活動紹介・情報の発信を行い、ボランティア意識の向上と参加の促進を図ります。	92千円	ボラ基金
移動ボランティアセンター	ボランティア活動の理解と参加の促進を目的として、イベント等に出向き、移動ボランティアセンターを実施します。	20千円	ボラ基金
市ボランティア連絡協議会助成	市内のボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援します。	60千円	共募
ボランティア団体共同募金助成	市ボランティアセンターに登録されたボランティアグループの活動助成を行います。	450千円	共募
ボランティアフェスティバル	ボランティア活動に参加するきっかけづくりや活動者同士のつながりをつくることを目的として、市民が楽しく交流できるイベントを実施します。	701千円	会費
災害ボランティアセンター	災害ボランティアセンター運営協議会の構成団体による運営訓練を実施し、有事の際のネットワークを強固にします。	87千円	会費

(4)推進項目 : 地域生活を支える事業の推進

重点項目 : ①地域福祉権利擁護事業の充実

②心配ごと相談・貸付事業の充実

③小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

④行政・専門機関、福祉専門職との連携強化

①地域福祉権利擁護事業の充実

事業名	内容説明	予算	財源
自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援	判断能力が充分でないため、毎日の暮らしのなかで、福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めます。自立生活支援専門員により相談、契約、支援計画を作成し、生活支援員が計画に基づく支援を行います。	1, 264千円 264千円 3, 864千円	自主財源 市補助 県社協補助
地域福祉権利擁護事業の周知	地域の人や専門職の集まりなどを通じて事業の周知啓発に努めます。 また、「社協くさつ」での特集記事掲載やパンフレットの作成も行います。		
生活支援員の研修会の開催	生活支援員のスキルアップのための研修会を開催します。		

②心配ごと相談・貸付事業の充実

事業名	内容説明	予算	財源
心配ごと相談所開設	住民の皆さんの身近な暮らしの相談窓口としての「心配ごと相談所」を開設し、相談機能の充実を図ります。また、年4回発行の市社協広報紙「社協くさつ」に毎回掲載し、周知に努めます。 ○定例相談：月曜日から金曜日に開設します。 ◎出張相談：毎週月曜日に草津市役所で開設します。 ○法律相談：弁護士による相談を第1・第3水曜日に行います。	880千円 868千円	会費 市補助
相談員連絡会の開催	年6回開催し、相談員どうしの情報交換やスキルアップのための研修会を実施します。	52千円	会費
生活つなぎ資金貸付	寄り添い型支援を目指し、民生委員児童委員と連携して、一時的に生活困難に陥った世帯に生活のつなぎとして資金を貸付します。	2,926千円	善銀
生活福祉資金貸付	生活福祉資金の貸付相談や手続きを行うための職員を設置し貸付します。	3,210千円	県社協補助
	生活福祉資金貸付事業に対する民生委員による償還指導を実施します。	654千円	県社協受託
	生活福祉資金貸付事業の啓発をします。	123千円	県社協受託

③小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

事業名	内容説明

草津市民生委員児童委員協議会事務局	毎月1回、総務会、必要に応じ総務委員会を開催し、5部会2委員会1連絡会が有効に機能するように市社協が支援します。また、市社協職員の学区担当制による情報提供やアドバイスをを行うとともに、個別援助活動が円滑にできるよう民生委員児童委員活動を支援・協力します。
-------------------	---

事業名	内容説明	予算	財源
独居高齢者電話訪問	援助が必要な70歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、傾聴ボランティアが電話訪問することで孤立・孤独を防ぎます。また、民生委員児童委員と協力し日常的な見守り活動を実施します。	67千円	善銀
歳末たすけあい配分	福祉施設、団体等への見舞金の配布をします。また、市内の準要保護世帯への見舞金を民生委員児童委員と協力して配布をします。 また、一時的に支援が必要な世帯には緊急に食糧を支給します。	6,500千円	共同募金

④行政・専門機関、福祉専門職との連携強化

事業名	内容説明
社会福祉連絡会の開催	社会福祉推進連絡会議を毎月開催し、行政とのパートナーシップを強固に共に草津市の地域福祉の充実に取り組みます
赤十字事業の推進 (日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)	日本赤十字社の社資(社費や寄附金)募集や赤十字活動の普及を図り、赤十字の活動を支えるボランティアである草津市赤十字奉仕団の活動を支援します。 また、5月の赤十字月間においてJR草津駅で県下一斉の街頭啓発を行います。

事業名	内容説明	予算	財源
◎中間支援組織連携	草津市協働のまちづくり条例施行に伴い、中間支援組織としての役割が期待されます。市コミュニティ事業団とそれぞれの特徴や役割を明確化しつつ、これまでのネットワーク等を活かして、福祉ボランティアと市民公益活動団体に民間助成を活用した支援とまちづくりコーディネーターとボランティア日コーディネーターとの連携を図ります。	100千円	会費
社会福祉援助技術現場実習	社会福祉の専門家をめざす学生等に、人材育成の一環として実習の場を提供します。	28千円	自主財源

(5)推進項目 : 市社協の基盤づくり

重点項目 : ①役員と事務局体制の強化

②会員制・会費制の維持発展をめざす取り組み

③地域福祉活動推進に要する財源確保

④学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援における専門性の向上

①役員と事務局体制の強化

事業名	内容説明
第三者委員会の設置	苦情対応窓口を設置し、苦情解決の第三者委員を配置します。

事業名	内容説明	予算	財源
役員会の開催ならびに 研修会の開催	理事会等を中心として法人運営の強化を図ります。 ○理事会・評議員会・正副会長会を定期的に開催します。	911千円	自主財源
	○理事等の地域福祉研修会を実施し、役員体制の強化を図ります。	30千円	
職員研修、職員会議の 開催	人権研修や地域福祉コーディネータースキルアップ研修を実施します。 また、毎月、事業の進捗状況を確認しつつ、草津市の地域福祉活動の展開や社会福祉の動向等を意見交換する場をつくり職員同士の連携を図ります。	30千円	自主財源
地球温暖化防止推進	省エネに取り組み、エコ意識を高めます。	6千円	自主財源

②会員制・会費制の維持発展をめざす取り組み

事業名	内容説明
「社協くさつ」での 会費の啓発	今年度から社会福祉法人新会計基準を整備し、より明確な財源区分を行い、市社協広報紙「社協くさつ」などで会費の使い途を明らかにし、理解と協力を求めます。

事業名	内容説明	収入予算	財源
市社協会費	福祉のまちづくりに参画する仕組みである社協会員制度の理解を広げる取り組みをすすめます。 一般会費・・・世帯を単位にした社協の参画と活動資金の支援 賛助会費・・・企業を単位にした社協の参画と活動資金の支援 賛助会費還付金50%と徴収事務費5%を小地域福祉活動の推進として、学区・地区・区社会福祉協議会に予算額1,934千円を還付します。	8,100千円 (4,600千円) (3,500千円)	会費

③地域福祉活動推進に要する財源確保

事業名	内容説明
共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)運動の推進	民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進します。

事業名	内容説明	収入予算	財源
入れ歯リサイクル	不要になった入れ歯をリサイクルし、その収益金を地域福祉活動の財源確保に努めます。	18千円	自主財源
社協くさつ有料広告募集	市社協広報紙「社協くさつ」の広告欄の募集をし、財源確保に努めます。	300千円	自主財源
善意銀行・災害復興基金の活用と運用、寄付金の募集	市民の善意の寄附金を、市社協広報紙「社協くさつ」で啓発し、生活困窮者への一時的な貸付を行う生活つなぎ資金の原資として活用します。また、寄附金の一部を災害時におけるボランティア活動支援のための資金として災害復興資金に積み立てます。寄附金の有効活用に努め基金等を有効に運用します。	2,926千円	善銀
ボランティア基金の活用と運用、寄付金の募集	ボランティアセンターの使命である住民の福祉力を高め、地域の生活課題の解決をすすめます。また、多様なボランティアや市民活動の振興に努めるための財源とし、寄附金の啓発と募集に努め基金等を有効に運用します。	2,425千円	ボラ基金

④学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援における専門性の向上

事業名	内容説明	予算	財源
学区社協会長会	学区社協会長どうしの情報交換や福祉のまちづくりを推進する会議として月1回開催します。	512千円	会費
学区社協共同募金助成	地域の支えあい活動を推進するための3本柱の活動『福祉の土壌づくり』『活動の担い手づくり』『個別	4,030千円	共同募金

	援助活動』を支援します。		
学区社協活動助成	学区社協助成として、地域での支えあい活動を推進するためのボランティア活動を推進します。	650千円	基金
福祉委員設置促進	学区社協との協働により「福祉委員の手引き」をもとに学習会などを開催し、福祉委員活動がより効果的に行われるよう支援します。	70千円	会費
◎地域福祉活動推進実践促進	草津市協働のまちづくり条例の施行に伴い、中間支援組織として地域福祉コーディネータ力を高め地域福祉推進の支援を図るため、学識者や地域での活動者の参画を得て「地域福祉活動推進実践会議」を設置します。さらに重点実践地域を選定し地域福祉推進を支援します。	606千円	会費
小地域福祉活動集	各学区の特徴や学区社協の活動状況をまとめた学区社協便覧を作成します。	14千円	会費